

サミット宣言

近年、世界では「和の文化」のすばらしさが評価されている。

日本人が日本人としての心のよりどころを求め始めた現在、「和の文化」の象徴は、民族衣装の「きもの」にあると確信する。また、若い世代を中心に「ゆかた」や「アンティークのきもの」にスポットが当てられている。永年にわたり日本の生活様式が変化してきた中で、我々は、すばらしいきもの文化が未来永劫力強く息づくことを願っている。

紬のふるさと茨城・結城の地から、次のとおり「サミット宣言」を行う。

1. 我々は、きもの文化を「育み」「発展」させ、次世代に伝えていくことに努める。
2. 我々は、きもの文化と和装産業の発展育成のために、ほんものの「人づくり」「ものづくり」に努める。
3. 我々は、若い世代の「きもの」に対する想い、新しい感覚を真摯に受けとめ、新しい「きもの」の在り方を創造することにより、きもの人口を開拓することに努める。
4. 我々は、自らが進んで「きもの」を着用し、「きもの」の美しさとすばらしさを訴えるとともに、着用機会を増やし、日本人のきもの文化の啓蒙を図っていく。

平成20年11月8日

きものサミット IN 結城開催委員会